

## 令和元年度教育研究活動報告書

氏名	柴 市郎	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	修士（日本文学）（慶應義塾大学）	職位	
専門分野	日本近代文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	日本文学講読Ⅳ（近現代）、日本文学講義Ⅲ（近現代）、近現代文学基礎演習ほか
大学院	日本近代文学特論ほか
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）初期小津安二郎（戦前）について	
（2）森敦の文学について	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R1・H30・H29	
R1	〈論文〉小津安二郎『父ありきを見る＝読む』（刈山和俊名誉教授との共著、2020年2月『尾道文学談話会会報』第十号）
H30	〈論文〉森敦の「月山」を読む（刈山和俊名誉教授との共著、尾道市立大学芸術文化学部日本文学科『尾道文学談話会会報』第9号、2019年2月）
H29	〈論文〉「林芙美子『鶴の笛』を読む」（『尾道文学談話会会報』第八号、2018年2月）、 〈論文〉「大林宣彦監督作品『ふたり』採録シナリオ（二）」柴研究室内大林宣彦研究会（共）、 2018年2月『尾道文学談話会会報』第八号
H28以前の主な研究業績	
（1）論文「『こゝろ』論―「独立」と「関係」―」（単）、平成4年10月、季刊『文学』第3巻第4号、岩波書店	
（2）論文「『おふえりや遺文』論―<書く>ことの背理」（単）、平成5年10月、季刊『文学』第4巻第4号、岩波書店	
（3）「『道草』―交換・貨幣・書くこと―」（単）、平成5年10月、『日本近代文学』第49集 日本近代文学会、 『日本文学研究論文集成27 夏目漱石2』（共）、平成10年9月 若草書房 に再録。	
（4）「<狂気>をめぐる言説 ―<精神病患者監護法>の時代―」（単）、平成9年5月、『メディア・表象・イデオロギー』小沢書店	
（5）「『青春の夢いまいづこ』試論―小津安二郎の戦前作品について―（その1）」（単）、平成24年3月、 『尾道大学芸術文化学部紀要』11号 尾道大学	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H29・H30・R1	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
昭和文学会	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
（1）<公開講座> 尾道文学談話会「森敦の『マンガラ紀行』を読む」（1月11日）※刈山和俊名誉教授との共同発表	
公開講座	1 回
講演会	回
出前授業	回
その他（ ）	回